

平成 27 年 12 月 4 日

各 位

委 託 会 社 名 大和証券投資信託委託株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 白川 真
担当者の役職氏名 経 営 企 画 部 近藤龍一郎
(連絡先 03-5555-4946)

平成 28 年 1 月期 中間決算短信 (平成 27 年 4 月 24 日～平成 27 年 10 月 23 日)

大和証券投資信託委託株式会社を管理会社として上場する ETF 銘柄について、以下のとおり平成 28 年 1 月期 中間決算短信 (平成 27 年 4 月 24 日～平成 27 年 10 月 23 日) をご報告します。

記

上場ETF (2銘柄)

銘柄名	銘柄コード	上場取引所
ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス	1456	東
ダイワ上場投信－TOPIX インバース (-1 倍) 指数	1457	東

* 各銘柄の中間決算短信につきましては、次ページ以降をご参照ください。
なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の中間決算短信が表示されます。

以上

平成28年1月期 中間決算短信（平成27年4月24日～平成27年10月23日）

平成27年12月4日

ファンド名 ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス 上場取引所 東証
 コード番号 1456
 連動対象指標 日経平均インバース・インデックス
 主要投資資産 親投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和証券投資信託委託株式会社 URL <http://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白川 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)近藤 龍一郎 TEL (03)5555-4946

半期報告書提出予定日 「特定有価証券の内容等の開示に関する留意事項について」24の5-1の規定に基づき、当中間期の半期報告書は提出しません。

I ファンドの運用状況

1. 27年10月中間期の運用状況（平成27年4月24日～平成27年10月23日）

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
27年10月中間期	百万円 1,100	% (51.3)	百万円 1,043	% (48.7)	百万円 2,144	% (100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
27年10月中間期	千口 —	千口 260	千口 50	千口 210

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)
27年10月中間期	百万円 2,718	百万円 573	百万円 2,144	円 10,211.0

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

Ⅱ 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成27年10月23日現在	
	金額(円)	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		925,077,950
親投資信託受益証券		1,100,318,755
未収入金		600,000,000
差入委託証拠金		92,820,000
流動資産合計		2,718,216,705
資産合計		2,718,216,705
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		25,816,312
前受金		14,366,000
未払金		1,932,944
未払解約金		520,525,000
未払受託者報酬		708,572
未払委託者報酬		9,920,619
その他未払費用		637,571
流動負債合計		573,907,018
負債合計		573,907,018
純資産の部		
元本等		
元本	※1	2,100,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△)		44,309,687
元本等合計		2,144,309,687
純資産合計		2,144,309,687
負債純資産合計		2,718,216,705

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間
	自 平成27年4月24日 至 平成27年10月23日 金額(円)
営業収益	
受取利息	277,610
有価証券売買等損益	318,755
派生商品取引等損益	75,280,084
営業収益合計	75,876,449
営業費用	
受託者報酬	708,572
委託者報酬	9,920,619
その他費用	637,571
営業費用合計	11,266,762
営業利益	64,609,687
経常利益	64,609,687
中間純利益	64,609,687
剰余金増加額又は欠損金減少額	225,000
中間追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	225,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	20,525,000
中間一部交換に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	20,525,000
中間剰余金又は中間欠損金(△)	44,309,687

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間	
	自 平成27年4月24日	至 平成27年10月23日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。	

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成27年10月23日現在
1. ※1 期首元本額	2,500,000,000円
期中追加設定元本額	100,000,000円
期中一部交換元本額	500,000,000円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	210,000口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間	
	自 平成27年4月24日	至 平成27年10月23日
	該当事項はありません。	

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成27年10月23日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。

	(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--	--------------------------------------------------------------------------------

(デリバティブ取引に関する注記)
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	当中間計算期間末 平成27年10月23日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
株価指数先物取引				
売 建	2,117,642,000	—	2,143,200,000	△25,558,000
合計	2,117,642,000	—	2,143,200,000	△25,558,000

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成27年10月23日現在
1口当たり純資産額	10,211.0円
(10口当たり純資産額)	(102,110円)

平成28年1月期 中間決算短信 (平成27年4月24日～平成27年10月23日)

平成27年12月4日

ファンド名 ダイワ上場投信-TOPIXインバース (-1倍) 指数 上場取引所 東証
 コード番号 1457
 連動対象指標 TOPIXインバース (-1倍) 指数
 主要投資資産 親投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和証券投資信託委託株式会社 URL <http://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白川 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)近藤 龍一郎 TEL (03)5555-4946

半期報告書提出予定日 「特定有価証券の内容等の開示に関する留意事項について」24の5-1の規定に基づき、当中間期の半期報告書は提出しません。

I ファンドの運用状況

1. 27年10月中間期の運用状況 (平成27年4月24日～平成27年10月23日)

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月中間期	1,100	(72.9)	408	(27.1)	1,509	(100.0)

(2)設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
27年10月中間期	—	260	110	150

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
27年10月中間期	2,715	1,206	1,509	10,062.1

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成 27 年 10 月 23 日現在	
	金額 (円)	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		813,839,518
親投資信託受益証券		1,100,328,715
未収入金		700,000,000
前払金		39,289,000
差入委託証拠金		62,115,000
流動資産合計		2,715,572,233
資産合計		2,715,572,233
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		64,567,440
未払金		2,809,340
未払解約金		1,127,357,000
未払受託者報酬		707,826
未払委託者報酬		9,910,247
その他未払費用		904,460
流動負債合計		1,206,256,313
負債合計		1,206,256,313
純資産の部		
元本等		
元本	※1	1,500,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 (△)		9,315,920
元本等合計		1,509,315,920
純資産合計		1,509,315,920
負債純資産合計		2,715,572,233

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間
	自 平成 27 年 4 月 24 日 至 平成 27 年 10 月 23 日 金額 (円)
営業収益	
受取利息	269, 231
有価証券売買等損益	328, 715
派生商品取引等損益	47, 435, 507
営業収益合計	48, 033, 453
営業費用	
受託者報酬	707, 826
委託者報酬	9, 910, 247
その他費用 ※1	904, 460
営業費用合計	11, 522, 533
営業利益	36, 510, 920
経常利益	36, 510, 920
中間純利益	36, 510, 920
剰余金増加額又は欠損金減少額	162, 000
中間追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	162, 000
剰余金減少額又は欠損金増加額	27, 357, 000
中間一部交換に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	27, 357, 000
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	9, 315, 920

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間	
	自 平成 27 年 4 月 24 日	至 平成 27 年 10 月 23 日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。	

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成 27 年 10 月 23 日現在	
1. ※1 期首元本額	2,500,000,000 円	
期中追加設定元本額	100,000,000 円	
期中一部交換元本額	1,100,000,000 円	
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	150,000 口	

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間	
	自 平成 27 年 4 月 24 日	至 平成 27 年 10 月 23 日
※1 その他費用	主に、TOPIX インバース（-1 倍）指数の商標の使用料であります。	

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成 27 年 10 月 23 日現在	
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	
2. 金融商品の時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。	

	(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--	--------------------------------------------------------------------------------

(デリバティブ取引に関する注記)
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	当中間計算期間末 平成 27 年 10 月 23 日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1 年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
株価指数先物取引				
売 建	1,435,212,000	—	1,499,620,000	△64,408,000
合計	1,435,212,000	—	1,499,620,000	△64,408,000

- (注) 1. 時価の算定方法
 株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
 原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1 口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成 27 年 10 月 23 日現在
1 口当たり純資産額 (10 口当たり純資産額)	10,062.1 円 (100,621 円)